

令和5年1月26日

## まちづくり委員会資料

所管事務報告

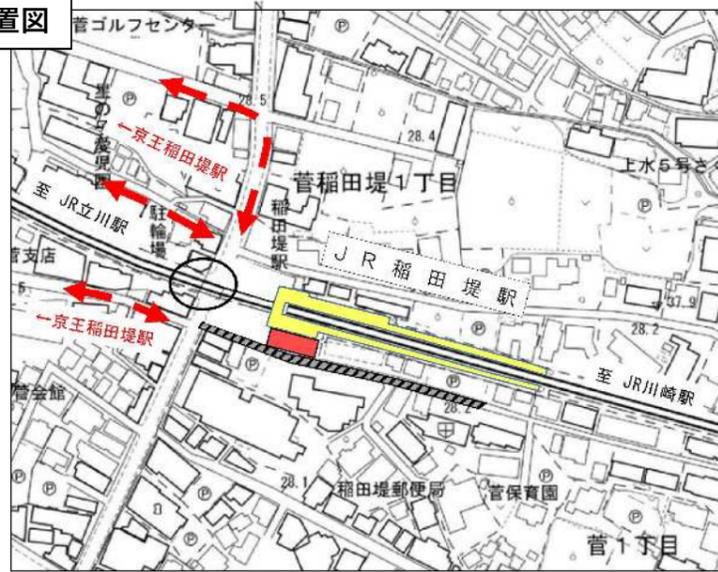
J R南武線稲田堤駅橋上駅舎化工事における供用開始時期及び  
事業費の変更について

資料 J R南武線稲田堤駅橋上駅舎化工事における供用開始時期及び事業費  
の変更について

まちづくり局

## 1 はじめに

### 周辺位置図



### 凡例

- J R 稲田堤駅
- 仮駅舎
- 仮駅舎接続道路
- 観光道踏切
- 乗り換え動線

### 【事業の概要】

本事業は、鉄道による地域分断の改善と踏切を横断する利用者の安全の確保等、駅へのアクセス性の向上に資するため、J R 南武線稲田堤駅の自由通路の整備及び橋上駅舎化を行う。

### 【これまでの取組内容】

- 平成24年12月： J R 東日本と基本覚書を締結し事業に着手
- 平成30年7月： J R 東日本と「自由通路新設及び橋上駅舎化に係る工事の施行に関する協定書」を締結
- 令和元年6月： 解体工事着手（工事説明会 令和元年5月）
- 令和2年4月： 本体工事着手（工事説明会 令和2年12月）
- 令和3年1月： 「陳情第68号 J R 稲田堤駅工事の安全・大混雑緩和対策に関する陳情」の陳情審査 → 令和3年10月に取下げ
- 令和3年6月： 仮駅舎供用（期間は令和5年8月までを予定）
- 令和4年6月： 駅構内の新設エレベーター使用開始
- 令和4年7月： 「陳情第129号 J R 稲田堤駅の橋上駅舎工事を安全に進め、且つ利便性の向上を求める陳情」の陳情審査（継続審査）

工事においては、令和3年6月に仮駅舎を設置したことに伴い、仮駅舎に接続する道路を通る駅利用者等への安全対策を行いながら工事を進めております。また、線路上空の作業は、やむを得ず列車運行後の夜間作業となるため、周辺環境への影響を考慮し、できるかぎり日中作業へ振り替える等の対応をとっております。



写真①



写真②



写真③

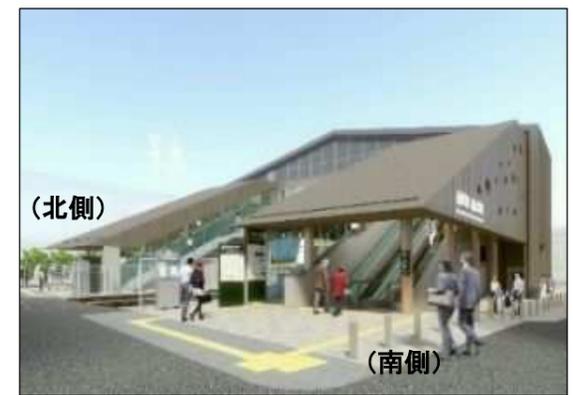
## 2 供用開始時期の見直しについて

本事業におきましては、平成30年7月に施行協定を締結し、工事を進めてまいりましたが、近年、コロナ禍やウクライナ情勢など、社会情勢の影響により、**資材の納入時期の遅延**、作業員のコロナ感染などの工事の**施工体制に支障**が生じたことなどから、令和5年度内を目指していた**自由通路の完成・供用開始時期が約3ヶ月遅れる見通し**となりました。

なお、**自由通路の南側部分及び新駅舎の供用開始の時期**は、利用者の利便性・安全性確保のため、**予定通り令和5年8月に供用開始**できるよう工事を進めてまいります。



完成パース①



完成パース②

### 【スケジュール表】

年度	令和4年度							令和5年度							令和6年度													
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
現計画	自由通路(南側)・仮駅舎施工							仮駅舎解体 自由通路(北側)施工							完成・供用開始													
	自由通路(南側)・仮駅舎施工							仮駅舎解体 自由通路(北側)施工							完成・供用開始													
変更工程	自由通路(南側)・仮駅舎施工							仮駅舎解体 自由通路(北側)施工							完成・供用開始													
	自由通路(南側)・仮駅舎施工							仮駅舎解体 自由通路(北側)施工							完成・供用開始													
利用者動線	仮駅舎利用							自由通路(南側のみ)⇄新駅舎							自由通路(南北両側)⇄新駅舎													

## 3 事業費の増額について

本事業を進める中で、駅利用者の動線変更や周辺環境への影響に対応するため、誘導員配置期間の延長や一部道路拡幅などの**安全対策に係る費用**や社会変容に伴う**建設資材の高騰**などにより、**約9,400万円の事業費の増額**が必要となりました。

施行協定額：約34.9億円 → 約35.8億円

## 4 今後のスケジュール(案)

- ・令和5年3月 市議会定例会における当該予算の議案の審議・審査（以下、議案の承認を得た場合）
- ・令和5年3月末 J R 東日本と施行協定の変更（施行期間の延長と増額）
- ・令和5年8月 自由通路の南側部分及び新駅舎の供用開始

引き続き、周辺環境に配慮しながら、全体の供用開始を目指し工事を安全に進めてまいります。

